
【参加者募集】第2回オンライントーク

継続的な交流を生むために —— ブラジル県人会のSNS活用を考える ——

2026年1月26日

開催趣旨

ブラジルには日本各地の「県人会」が存在し、地域文化の継承や日伯交流の担い手として重要な役割を果たしてきました。近年、県人会ではSNS（TikTok・Facebook・Instagram・WhatsApp等）を活用した情報発信や交流が活発化しています。

一方、日本側の自治体からは「どのように関わればよいか分からない」「継続的な接点を持つのが難しい」という声も少なくありません。

本セミナーでは、SNSという身近なツールを切り口に、遠隔でも、無理なく、継続的につながる自治体と県人会の関係づくりを考えます。

開催概要

日時：2026年2月25日（水）

時間：

日本時間 10:00～11:00

ブラジル時間 22:00～23:00

開催形式：オンライン（Zoom）

使用言語：日本語

参加費：無料

プログラム（予定）

- 10:00-10:05 趣旨説明・登壇者紹介
- 10:05-10:25 県人会/自治体におけるブラジルでのSNS活用事例紹介
- 10:25-10:45 ゲストを交えた座談会（事例・課題・可能性）
- 10:45-10:55 質疑応答
- 10:55-11:00 まとめ・今後の展望

こんな方におすすめ

- ✓ 国際交流・多文化共生・観光・関係人口・移住定住等を担当する自治体職員
- ✓ ブラジル日系社会との連携に関心のある自治体関係者
- ✓ 「まず知りたい」「情報収集したい」という段階の方も歓迎

このトークで得られること

① 県人会/自治体におけるブラジルでのSNS活用の実態と具体例

現地で実際にどのようなSNS活用が行われているか、具体的な事例をご紹介します。

② 自治体が発信主体にならずに関われる方法のヒント

「自分たちで発信するのは難しい」という自治体でも関われる、実践的なアプローチを提示します。

③ 国際交流・多文化共生・観光・関係人口施策への応用視点

SNSを活用した県人会との連携を、自治体の各種施策にどう活かせるかを考えます。

④ 今後の交流事業を検討するための実践的な着眼点

イベント後、具体的なアクションを検討に繋がるヒントを得ることができます。

登壇者プロフィール

【司会】

小林大祐（CKC）/ 仲島尚（株式会社ブリコラージュ）
| CKCグローバルセンター内12hours プロジェクト

【特別ゲスト】

カルロス・フジナガ氏

日伯文化連盟理事 / コンテンツ制作者・通訳

日伯を横断した文化交流・情報発信の現場で長年活動。県人会や日系社会とのネットワークを持ち、両国をつなぐコンテンツ制作に携わる実践者。通訳としても日伯のコミュニケーションを支えています。

Instagram: @mogumogubr

セイジ・ニシ氏 (GoHanGo)

デジタルクリエイター / インフルエンサー

ブラジルを拠点にSNSを活用した情報発信を行うデジタルクリエイター。日本の料理文化を主なテーマに若い世代に向けた親しみやすいコンテンツを展開。現地での影響力を活かし、日本とブラジルをつなぐ新しい形の交流を実践しています。@gohangosocialの共同創業者。昨年より東京都内在住。

Instagram: @seidinissi



写真右から小林、仲島、カルロス氏、セイジ氏



お申込みフォームはこちらから